

## 『HBs 抗体定量の結果に関するご案内』

B型肝炎ウイルス（HBV）は血液によって感染する病原体としては最も感染力が強く、針刺しに限らず、血液が付着した環境表面から僅かな傷を介して感染する可能性が高いです。よって、患者の血液・体液に接する可能性のある全ての職種や医療従事者がB型肝炎ワクチン接種の対象者となります。ただし、既感染者・HBs 抗体定量 $\geq 10$  mlU/mLの方は、免疫獲得者としてB型肝炎ワクチン接種は不要とされています。

HBs 抗体定量 $< 10$  mlIU/mLの方

患者の血液・体液に接する可能性のある全ての職種や医療従事者の方はB型肝炎ワクチン接種をご検討下さい。

しかし、既にB型肝炎ワクチンを接種した方に関しては抗体が不十分である可能性があります。かかりつけの医師又は消化器内科の医師に相談の上、B型肝炎ワクチン接種の判断をして下さい。

TEL 0574-25-5692 （ 保健師直通ダイヤル ）

参考文献 医療関係者のためのワクチンガイドライン 第3版  
一般社団法人 日本環境感染学会 ワクチン委員会